２０２５年４月

各　位

（一社）日本経済団体連合会
会 長　　十倉 雅和

日本商工会議所
会 頭　　小林　健

（公社）経済同友会
代表幹事　新浪 剛史

［公印省略］

昭和百年記念事業
「昭和天皇記念館」大規模刷新・維持事業へのご協力のお願い

拝啓　ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。

さて、昭和天皇記念館は、御在位50年記念事業の一環として東京・立川市内に整備された昭和記念公園内に2005年11月に開館いたしました。爾来、述べ35万人の来場者を迎え、そのご生涯を映像や写真をもってご紹介するとともに所縁の品々を展示し、昭和天皇のご聖徳を広くお伝えしてまいりました。

昭和天皇は、明治、大正、昭和に及ぶ激動の時代とともにありました。ご即位後は旧憲法の下で国のかじ取りを担われ、戦前・戦中に至る苦難を経て、昭和20年8月15日には終戦の詔書いわゆる玉音放送において、全国民に語りかけました。戦後は人間天皇として、荒廃した国土や産業、人々の暮らしに御心を砕かれ、国民を慰め励ましたいとの強いご意思から総行程33,000㎞におよぶ日本全国を巡幸されました。被災した市民への慈しみ、復興や困難に立ち向かう国民、企業人、地域への励ましが、その後の高度経済成長、ひいては現在の平和と繁栄に繋がったことは言を俟ちません。

2026年に昭和100周年を迎えるにあたり、同記念館を管理する昭和聖徳記念財団（会長 伊吹文明元衆議院議長）では、昭和天皇のご遺徳とご事蹟を現代に繋ぎ、これからを生きる全ての人々の道しるべとなるよう、同記念館をより親しみやすく改装することを企図し、同募金委員会の御手洗冨士夫会長（経団連名誉会長）より経済界に対し、特段のご協力を得たい旨の依頼がございました。

つきましては、関係者よりご協力の依頼がありました際には、何卒、趣旨ご賢察の上、格別のご高配を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

敬具